

高大連携授業

内 容：「研究発表に向けて～方法論、計画、まとめ方、プレゼンテーション～」

講 師：高倉 久志先生（同志社大学スポーツ健康科学部）

対 象：スポーツ健康科学科2年生

スポーツ健康科学科の授業は一般教科に加えて、3年間で計25単位の専門科目の授業があります。

専門科目では講義・演習系の授業は「スポーツ概論」と「スポーツ総合演習」、実技系の授業は部活動と連動した「スポーツⅠ（陸上・水泳）、スポーツⅡ（野球・バドミントン）、スポーツⅢ（柔道・フェンシング）、スポーツⅣ（野外活動）、スポーツⅤ（体づくり運動）」を履修しています。

スポーツ健康科学科では学科開設当初から探究学習として「研究発表」を行い、その成果をまとめています。

専門科目の学び、日頃の部活動等を行う中で興味を持った事柄についてテーマを設定し、実験・調査を行います。自分の研究にできるだけオリジナリティを持たせるためには先行研究を調べることも大切です。

また、実験・調査を計画的に進めていくためには時間・場所、道具・被験検者（実験に協力してもらえる対象者）など様々な調整力が試されます。結果をまとめる際には1学期の「スポーツ概論」の授業で学んだ統計解析も必要になります。

今回、高倉先生には高校生における研究発表の意義、研究の手順などをわかりやすく解説していただきました。

1学期の残りの授業でグループ分けを行い、研究テーマを検討、2学期に入ると文化祭、体育祭等学校行事が目白押しの中、進めていかなければいけません。グループの中での意見の発信、聞き取る力、個々が人任せにしないで自発的に動いていくことが大切になります。



